

4. 5日制対応プログラムについて

(1) 親子で参加できる自然体験、ものづくり活動

【 事例13の特色 】

馬頭町「親子わくわく塾」では、町の中央公民館等を会場に、小学生以上の親子を対象とした普段できない森林活動、水辺での活動等自然との関わりを体験的に味わう活動を実施している。これは、科学の実験を通して、科学の不思議な仕組みと魅力を発見することもねらいとしている。このことにより、親子のふれあいの場として、また、子どもたちには最後までやり遂げる喜びや根気強さを養う場として効果をあげている。

(2) 中学生や高校生が企画、運営に参画するボランティア活動

【 事例13の特色 】

先に記した馬頭町「親子わくわく塾」では、様々なプログラムの企画・立案・運営にジュニアリーダースクラブの高校生が参画している。このことにより、5日制における高校生としての活躍の場（指導者としての立場）が設けられ、高校生ならではの発想が子どもたちや保護者からも好評を得ている。

《事例13》

1. 事業の概要

事業名	親子わくわく塾（馬頭町）	定員	30家族
実施主体	馬頭町親子わくわく塾実行委員会	実施曜日	土・日曜日
事業のねらい	土曜や日曜日等の休日に親子が一緒になり体験活動し、たくましい子どもを育成し、子どもたちの正義や倫理観等の豊かな人間性をはぐくみ多彩な活動を体験できる機会を充実する。	実施回数	7回
		実施場所	中央公民館等
参加対象	小学生以上の親子	事業開始	平成8年度
《事業の特色》 ・小学生以上の親子活動 ・普段体験できないような森林活動、水辺での活動等自然との関わり体験 ・科学の実験を通して、科学の不思議な仕組みと魅力を発見し、児童の科学の芽を育む			

2. 事業の具体的内容

【事業の内容】

7回の講座であり、町内外の自然の姿にふれ、人のくらしと自然について学び、豊かな心と自然愛護の心を育てる。

体験学習や異年齢集団における学習を通して、自然や人とのふれあいの喜びを味わわせる。

【プログラム】

第1回 竹とんぼ教室

第5回 科学の実験

第2回 木工工作

第6回 町内ウォークラリー

第3回 水辺生態系の保全・管理論

第7回 ミニ門松製作

第4回 グリーンアニマル制作

成
果

親子が一緒になり、自然体験活動やものづくり活動などを行うことにより、親子のふれあい、また物づくりを最後までやりとげる喜びや根気強さを養うことができたと思われる。

課
題

- ・何年も引き続き参加してくれる受講生がいることは、喜ばしいことであるが、新しい参加者の発掘が必要である。
- ・未就学児の託児関係の検討

ジュニアリーダースクラブ調査票 No. 1

クラブ名 馬頭町ジュニアリーダースクラブ	市町村名 馬頭町
発会年月 平成4年6月27日	行政担当課 生涯学習課
	担当者職名 副主幹 氏名 主事
代表顧問 生涯学習課長	
連絡先 〒324-0613 栃木県那須郡馬頭町大字馬頭 555番地	連絡先 〒324-0613 栃木県那須郡馬頭町大字 馬頭555番地
電話番号 0287-92-2897	電話番号 0287-92-2897

行政担当者が顧問を兼ねている場合でも両方に記入願いま

会員数	男子	女子	定例会
高校1年生	0	0	（毎週金曜日午後5時から7時まで通常約〇〇名参加、月2回第2・4土曜日午後1時から3時まで通常約〇〇名参加等、具体的に御記入
高校2年生	2	4	
高校3年生	1	8	
中学生	0	0	定例会 毎月第1土曜日 午後2時30分～4時 各イベントの事前うちあわせを臨時で行
社会人	0	0	
合計	15		

特色ある活動（実施月、期間等についても御記入ください。）

内 容	実施月	期間
新会員歓迎キャンプ	6月	1泊2日
馬頭町福祉センターデイサービス協力	7月	5日間
各支部育成会キャンプ協力	7～8月	1泊2日
馬頭町教育委員会主催国際交流weekend in馬頭協力	8月	2日間
馬頭町社会福祉協議会主催福祉まつり協力	11月	1日間
県内ジュニアリーダースクラブ交流会	11月	1日間
1日研修	3月	1日間
3年生を送る会	3月	1日間

現在、貴クラブの課題等についてあげてください。また、その対応策について御記入ください

会員の確保——活動をケーブルテレビで放送する
ポスター、募集要項を各高校に配布するなど検討中

その他、ご意見をお書きください。

【事例14の特色】

鹿沼市「中学生による読み聞かせボランティア」では、中学生に読書への関心を高めてもらうことを目的に、鹿沼市図書館ボランティアKLVが主体となって、中学生中心の読み聞かせボランティア活動を行っている。これは、小学校時代に読み聞かせをしてもらった経験を自分以外の人にも味わってもらおうと、中学生が保育園や幼稚園、コミュニティーセンターなどお話を主体的に行っているものである。

《事例14》

事業名（市町村）	中学生による読み聞かせボランティア（鹿沼市）
事業主体	鹿沼市図書館ボランティアKLV、jr
<p>【事業（施設）の概要及び特色】</p> <p>1. 目的</p> <p>本離れが進んでいる中学生に、読書への関心を高めてもらうことを目的としている。読み聞かせボランティアという活動を設け、それを目指して主体的に本に親しみ、本を好きになってもらおうというねらいをもっている。</p>  <p>2. 概要及び特色</p> <p>鹿沼市図書館ボランティアKLVは、市内の小中学校で学校図書管理や読書普及活動を行っている。特に、普及活動は、読み聞かせが中心である。その活動の中でも中学生については、読み聞かせをする側になることで、主体的に本に親しみ、読書好きになれるようにと、市内3つの中学校でKLV、jrを組織している。</p> <p>その中の一つ、北犬飼KLV、jrの構成メンバーは約30人。大人のKLV 5～6人と日曜日の夜に、読み聞かせの練習に励んでいる。夜の練習には保護者の協力が必要となっている。その練習をもとに、保育園や幼稚園、コミュニティセンターなどでお話を開催し、パネルシアターやエプロンシアターを行っている。メンバーの中には、「自分も小学生のときに読み聞かせをしてもらって、楽しめた体験を生かしたかった。」というように、小学校時代のよい体験を、今度は自分以外の人にも味わってもらいたいという願いをもって活動している子もいる。</p> <p>3. 取り組みによる効果</p> <ul style="list-style-type: none">・読み聞かせの練習を通して、子どもの読書量が確実に増えてきている。また、読み聞かせをするために、自分なりに表現を工夫するなど、めあてをもって生き生きと活動する様子が見られる。・読み聞かせを披露する中で、一生懸命に取り組んでいることを褒めてもらったり、「ありがとう」と声をかけてもらったりしていることが、子どもの喜びや励みになり、人の役に立つ喜びを感じている。・子どものがんばりや成長にふれ、指導している大人自身もたくさんの学びを得られる。 <p>4. 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none">・関係機関（家庭・学校・塾など）との協力体制をさらに整え、子どもがゆとりをもって活動に参加できるような時間を確保したい。また、練習時間帯も子どもが自らの力で集合できる昼間の時間帯での実施を目指したい。	

参考《 KLV（鹿沼市図書館ボランティア）システム全体構想図 》

